



新潟県長岡市高齢者総合ケアセンター こぶし園

「サポートセンターしなの」を訪問して

ほうじん
～老人から豊人へ～

サポートセンターしなの

昨年11月に、新潟県長岡市のこぶし園に行って来ました。こぶし園は、病院・特別養護老人ホーム等を母体として、現在、市内の18か所にサポートセンターやグループホーム等を運営しています。

「サポートセンターしなの」を訪ね、担当者から地域包括ケア(医療・介護・予防・住まい・生活支援)の基本を学び、必要なとき、必要なサービスが24時間365日提供される活用方法と施設内を案内していただきました。

「老人から豊人へ 生きがいを持ち健康で豊かに生活する高齢者」を目指している今後の高齢化社会のモデルになっている施設でした。

視察を終え私達も、包括支援センターや関係機関と連携をとり、少しでもお手伝いができればと思い、とても有意義な研修となりました。

～～民生委員・児童委員はいつもあなたのそばにいます～～

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815

今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第13集 -」の作品の中から、小学校3年生の作品を紹介します。

わたしの妹

わたしの下の妹の頭には、けっかんしゅという赤いあざがあります。しかも大きく、こぶのようにはれています。これはけっかんで、ぶつけるとたいへんな事になります。この前自分でひっかいて、血が止まらなくなった時は、家ぞく中があわててとても心ぱいしました。

はじめて会う人は、かならず、「どうしたの。」と聞いてきます。おもしろがって何でも聞く子もいました。お母さんが不注意でけがをさせてしまったと思いこんで、「かわいそうにね。いたかったでしょう。」

その言葉に、お母さんはかなしい顔をしていました。何だか妹がかわいそうになりました。そこだけにみんなの目がいき、ふしぎそうに聞いてきます。

人と少しでもちがった所があったり、かわったことをしたりすると、そのことについてからかわれたり、いじめられたりします。でも、その子にとってはとてもかなしいことです。心がきずついてしまいます。

妹にそういう事があったら、たすけてあげようと思います。「からかってはだめだよ。」と、はっきり注意できるようにがんばります。そして、もし自分がいじめられたら、「やめてね。」と言えるゆう気をもちたいです。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。